

(第1面)

産業廃棄物処理計画書

令和 5年 6月 28日

宮崎市長 殿



提出者

住 所 宮崎市大字本郷南方1857番地3

氏 名 龍南建設 株式会社

代表取締役 川浦 幸治

(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)

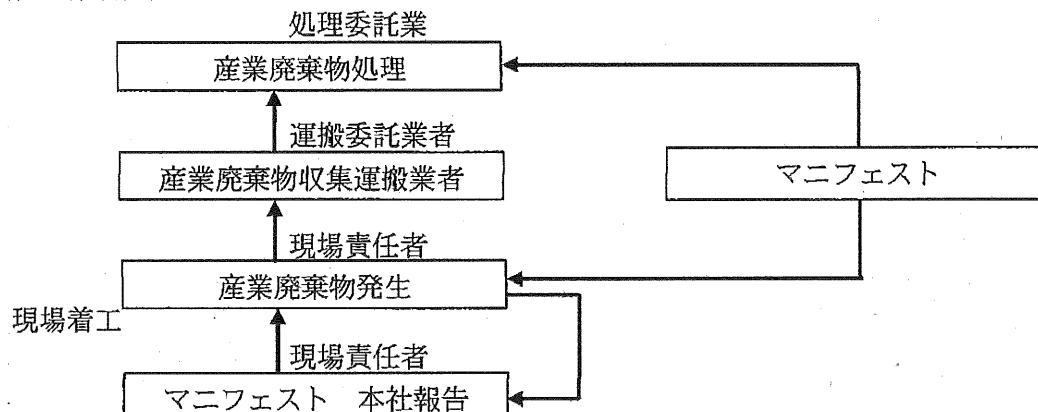
電話番号 0985-56-7300

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	龍南建設 株式会社
事業場の所在地	宮崎市大字本郷南方1857番地3
計画期間	令和5年4月1日～令和6年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
① 事業の種類	総合工事業
② 事業の規模	年間受注額 約 20億
③ 従業員数	47名
④ 産業廃棄物の一連の処理の工程	公共工事受注⇒工事着手⇒既設構造物取壊し⇒コンクリート殻又はアスファルト殻等現場発生⇒集積・積込⇒廃棄物収集運搬車により産業廃棄物処分場へ運搬。

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)



産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

① 現状	【前年度（ 4 年度）実績】別紙記載		
	産業廃棄物の種類		
	排 出 量		
	（これまでに実施した取組） ・極力、既設構造物の取壊しを抑制させるための施工方法を計画立案し、発注者へ提案協議を行う。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	排 出 量		
	（今後実施する予定の取組） ・これまで同様、極力既設構造物の取壊しを抑制させるための施工方法を計画立案し、発注者への提案協議を行う。（既設構造物を存置、有効利用させる）		

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	（分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組） 産業廃棄物の種類ごとに仕分け、極力現場場内に仮置きする事を避ける。
②計画	（今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組） 産業廃棄物の種類ごとに仕分け、極力現場場内に仮置きする事を避ける。

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項			
①現状	【前年度（ 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項			
①現状	【前年度（ 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t	t
(これまでに実施した取組)			
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	t	t
(今後実施する予定の取組)			

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項			
①現状	【前年度（ 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		
産業廃棄物の処理の委託に関する事項			
① 現状	【前年度（ 4 年度）実績】 別紙記載		
	産業廃棄物の種類		
	全処理委託量	t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	t	t
	再生利用業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
	(これまでに実施した取組) ・極力、既設構造物の取壊しを抑制させるための施工方法を計画立案し、発注者へ提案協議を行う。		

②計画	【目標】	
	産業廃棄物の種類	
	全処理委託量	t
	優良認定処理業者への 処理委託量	t
	再生利用業者への 処理委託量	t
	認定熱回収業者への 処理委託量	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	t
	<p>(今後実施する予定の取組)</p> <p>・これまで同様、極力既設建造物の取壊しを抑制させるための施工方法を計画立案し、発注者への提案協議を行う。(既設建造物を存置、有効利用させる)</p>	
※事務処理欄		

別紙

産業廃棄物の現状、計画

産業廃棄物の種類	汚泥	廃プラ	木くず	がれき類	紙くず	混合物
令和4年度 排出量 (実績)	9.273 t	4.88 t	61.47 t	4623.24 t	0.18 t	1.48 t
令和5年度 排出量 (計画)	0 t	0 t	0 t	500 t	0 t	0 t

産業廃棄物(特別管理産業廃棄物)処理計画書 集計表

(別紙)

単位:t

産業廃棄物の種類		木くず	廃プラ	がれき類	建設汚泥	紙くず	混合	合計
産業廃棄物の排出の抑制に関する事項								
①現状(4年度実績)	排出量	61.47	4.88	4,623.24	9.27	0.18	1.48	4,701
②計画(5年度目標)	排出量	0	0	500	0	0	0	500
自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項								
①現状(4年度実績)	自ら再生利用を行った量							0
②計画(5年度目標)	自ら再生利用を行う量							0
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項								
①現状(4年度実績)	自ら熱回収を行った量							0
	自ら中間処理により減量した量							0
②計画(5年度目標)	自ら熱回収を行う量							0
	自ら中間処理により減量する量							0
自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投棄処分に関する事項								
①現状(4年度実績)	自ら埋立処分を行った量							0
②計画(5年度目標)	自ら埋立処分を行う量							0
産業廃棄物の処理の委託に関する事項								
①現状(4年度実績)	全処理委託量	61.47	4.88	4,623.24	9.27	0.18	1.48	4,701
	内訳							0
	優良認定処理業者へ処理を委託した量							
	再生利用業者へ処理を委託した量	61.47	4.88	4,623.24	9.27	0.18	1.48	4,701
	認定熱回収業者へ処理を委託した量							0
	認定以外の熱回収業者へ処理を委託した量							0
②計画(5年度目標)	全処理委託量	0	0	500	0	0	0	500
	内訳							0
	優良認定処理業者へ処理を委託する量							
	再生利用業者へ委託を委託する量	0	0	500	0	0	0	500
	認定熱回収業者へ処理を委託する量							0
	認定以外の熱回収業者へ処理を委託する量							0